

総合科学部 総合科学科 専門教育ガイダンス

学科長 石原 康宏

※このスライドは、[広島大学総合科学部HP](#)に掲載しています。
[広島大学総合科学部TOP](#) ⇒ [「学部について」](#) ⇒ [「新入生ガイダンス」](#)



広島大学

ガイダンスの内容

第1部： 総合科学部総合科学科について

第2部： 到達目標型教育プログラム
「HiPROSPECTS®」について

第3部： 総合科学科専門教育について

総合科学部

総合科学科 (IAS)

学生数:約120名
3教育領域 各4授業科目
人間探究領域
自然探究領域
社会探究領域

国際共創学科 (IGS)

学生数:約40名
(半数程度は留学生)
グローバルキャンパスの実現
4年間一貫した英語授業
留学が必修



第一部： 総合科学部 総合科学科について

創立50周年を迎えた
歴史と実績がある学部です。

総合科学部の理念と目標

学際性，総合性，創造性を基本理念とし，総合的知見と思考力を涵養するため，高度教養教育をむねとする専門教育をおこないます。

- 学際性・総合性への知的関心の開発に関して基礎科学を含む既存の学問体系を尊重しながら，現代の課題を柔軟な総合的方法で解決していく能力を育成します。
- 新しい学問分野の創造に関して，複雑で多岐にわたる知識と情報を収集整理し，これらを分析統合する科学的・創造的能力を育成します。
- 活発な学問的関心と自主性・自立性に関して，文科系と理科系の区分にとらわれない調和のとれた教育によって，幅広い視野から学問を愛し，自分の責任において考え行動する人間を育てます。
- 国際性に関して外国語と日本語の表現・理解能力および豊かな感性を涵養することによって，異文化間の適切なコミュニケーション能力を養います。

理念実現のために… 総合科学科カリキュラムポリシー

1. **教養教育**では、平和を希求し、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養することを目指すことに加え、「**広く学問への関心を高めものごとを学際的・総合的にとらえられる能力の素地を培う**」場であると位置づけ、実用的外国語運用能力、国際的視野や異文化理解能力、情報活用能力やコミュニケーション能力を養成します。
2. 教養教育と並行して、**1年次前期の専門必修科目「総合科学へのいざない」**では複雑な現代社会の諸問題への総合科学的アプローチについて、細分化する学問の歴史と現状、総合科学への期待と課題、総合科学部の歩みに関する講義と学生間での討論などから理解を深めます。続く、**1年次後期の専門必修科目「総合科学概論」**では、3つの教育領域（人間探究領域、自然探究領域、社会探究領域）と各教育領域内の4つの授業科目群の概要の理解に加えPBL（問題発見解決型学習）やグループ発表会でのプレゼンテーションを通して、総合科学の実践についての理解を深めます。

3. 2年次には、3つの教育領域の中から学生自身の希望に応じて、1つの教育領域およびその教育領域内の4つの授業科目群から主たる授業科目群を選択して学修を進め、専門性を深めるとともに、自由度の高い履修制度を利用して他教育領域の授業科目を履修することで、学際的・総合的な知識や方法論、視座の修得を目指します。また、総合科学科と国際共創学科の学生が共通で履修できる「総合科学部共通科目」では、様々な学問分野の基礎的な知識や方法論を学ぶことを目的とし、人間科学・社会科学・自然科学の3つの分野で開講される科目を履修することで、バランスのとれた知識を修得します。
3. 高学年次には、教育領域内の授業科目群とは別に、「学際科目」として、教育領域横断型の学際的研究を紹介する講義、新たな学際的テーマの構築を目指す演習、学際的方法を学ぶ実験・演習などを履修し、学際的研究の実現可能性への理解を育みつつ科学リテラシーや研究倫理の知識を深め、具体的に総合科学へのチャレンジを促します。加えて、「専門外国語科目」として、グローバルな視野から、研究発表や国際交流の場で求められる実践的外国語運用能力をさらに高める演習科目の履修を可能とし、総合科学の手法の理解を深めます。
3. 4年次には、学生が所属する教育領域の主指導教員と2名の副指導教員の指導の下、学士課程における学修の集大成として、学生が主体となり独創的な視点から研究テーマを設定して、特別研究論文（卒業論文）を作成します。
4. 学修の成果は、各科目の成績評価と共に総合科学プログラムで設定する到達目標への到達度の2つで評価します。

幅広い知識と複眼的視座：高度教養教育

人文社会科学・自然科学の学問分野にとらわれない広範な知識の修得と思考力の育成



多角的視野からの問題発見・解決能力，判断力，表現力，コミュニケーション能力の育成



オピニオンリーダー，プロジェクトリーダーなど，社会で活躍するリーダーに求められる高度な教養の育成

広島大学の学部の系統

〈理系学部〉

理学部
医学部
歯学部
薬学部
工学部
生物生産学部
情報科学部

〈学際系学部〉

総合科学部

〈教員養成系学部〉

教育学部

〈文系学部〉

文学部
法学部
経済学部

なぜ、文理融合を目指すのか？

- 社会の問題に「文理の壁はない」
- 様々な要因が複雑に、階層的に関係している
 - ⇒ 学際的・総合的視野，解決に向けた洞察力と指導力の重要性

例えば……「豪雨災害を減らす」

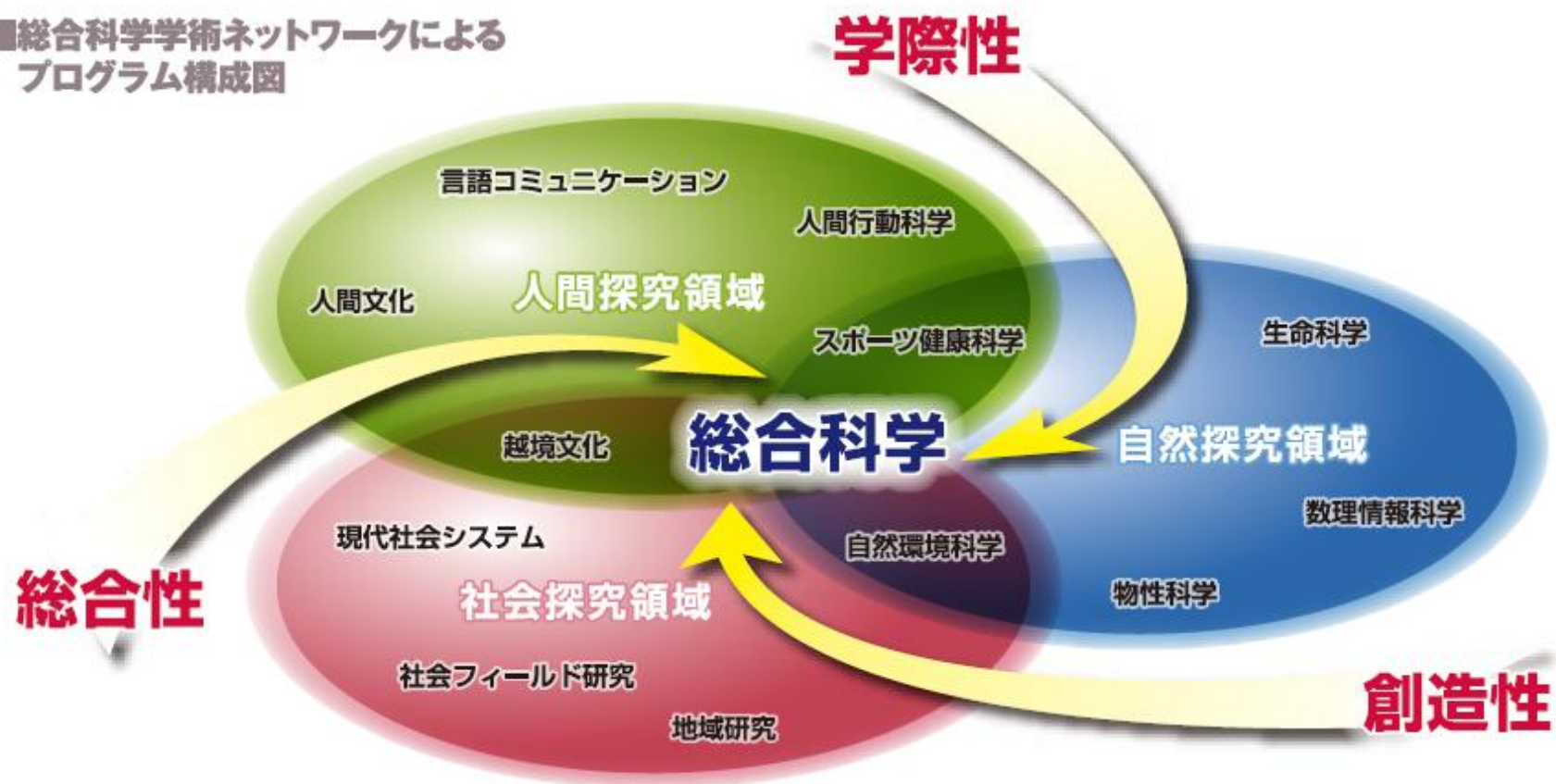
- 豪雨災害を予測する：気象学，砂防学，地質学……
- 洪水を防ぐ：土木工学，林野学，行政学……
- 避難や復興する：社会学，心理学，経済学……

⇒ **多くの専門領域の融合**が大切

総合科学プログラム

2年次から教育領域に配属。
以後、その教育領域を中心に学習を進める。しかし、1つの領域だけに留まるわけではない。

■総合科学学術ネットワークによる
プログラム構成図



人間探究領域の授業科目群

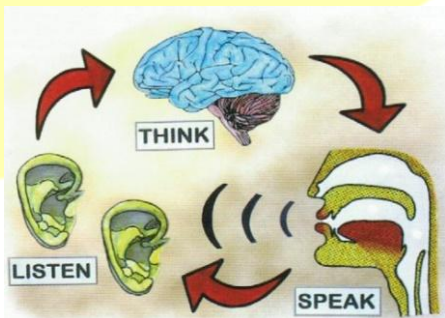
人間文化

知性と感性を磨き，豊かな人間性を目指す



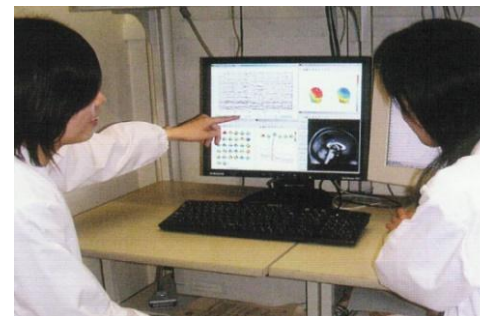
言語コミュニケーション

人は言葉とともにあり，知を深め，世界を広げる



人間行動科学

心と行動を科学的に解明する



スポーツ健康科学

健やかな身体と喜びや感動を生み出す科学



自然探究領域の授業科目群

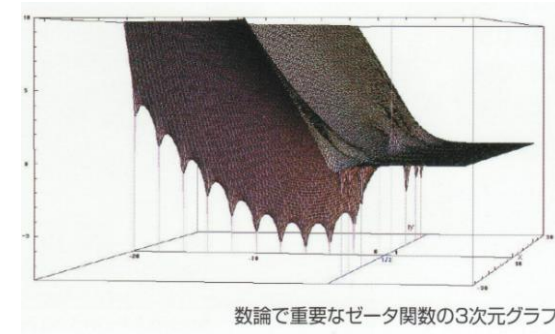
物性科学

物質を理解し，利用し，創り出す



数理情報科学

数理科学を駆使して情報化社会に立ち向かう



生命科学

生命の仕組みを探究し，持続可能性に貢献する



自然環境科学

人間と自然の共生のあり方を探究する



社会探究領域の授業科目群

地域研究

世界の中の地域，地域の中の世界



越境文化

地域やジャンルを超えた社会と文化を考える



現代社会システム

現代社会の多様な課題の解明と克服に向けて



社会フィールド研究

フィールドで考える，フィールドで学ぶ



就職状況

- 広島大学でもトップクラスの高い就職率
- 幅広い就職先
- 大学院へ進学して研究者になる卒業生も多い

異文化，異領域への共感と理解があり，幅広い分野の人的ネットワークをもつ，広島大学総合科学部の学生に対する社会のニーズは高まっている。

主な就職先

製造業：

スズキ株式会社、プリマハム株式会社、マツダ株式会社、レオン自動機株式会社、株式会社 資生堂、株式会社 出雲村田製作所、など

情報通信業：

OEC株式会社、S k y 株式会社、ドコモCS、株式会社 NTTドコモ、株式会社 インテージ、株式会社 プロシップ、株式会社 マイナビなど

卸売・小売業：金融・保険業：

シャープファイナンス株式会社、株式会社 みずほ銀行、株式会社 広島銀行、株式会社 三井住友銀行など

各種サービス業：公務等：

岡山県、宮崎県、熊本県、呉市、厚生労働省福岡検疫所、広島県、財務省中国財務局、三原市、三次市、農林水産省中国四国農政局など

総合科学部HPに、「総合科学部生の就職活動体験記」を掲載していますので、是非、見てみてください。

総合科学部＞進路・就職・資格＞進路・就職・資格(総合科学部)

到達目標型教育プログラム 「HiPROSPECTS®」について



本日の説明

1. 2026年度の授業について
2. 到達目標型教育プログラム「HiPROSPECTS®」について
3. 気象警報の発表等に伴う全学一斉休講について
4. 期末試験等における不正行為の取扱いについて
5. 授業改善アンケートの実施について
6. 外国語運用能力の向上について

2026年度学年暦 (授業スケジュール)

令和8 (2026) 年度 学年暦 (授業スケジュール)

前期	日	月	火	水	木	金	土	
令和8年				1	2	3	4	入学式 (4/3)
4月	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30			
5月					1	2		振替授業日 (5/1: 水曜授業)
	3	4	5	6	7	8	9	振替授業日 (5/7: 火曜授業)
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
6月		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
7月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	振替授業日 (7/14: 月曜授業)
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
8月							1	早稲記念日 (8/6)
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
9月			1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	秋季学位授与式 (9/18)
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30				
後期	日	月	火	水	木	金	土	
10月					1	2	3	秋季入学式 (10/1)
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	振替授業日 (10/16: 月曜授業)
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
11月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						
12月		1	2	3	4	5		
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			
令和9年						1	2	
1月	3	4	5	6	7	8	9	振替授業日 (1/6: 火曜授業)
	10	11	12	13	14	15	16	振替授業日 (1/14: 月曜授業)
	17	18	19	20	21	22	23	大学入学共通テスト (1/16-17) (1/15: 試験の日の休講の旨あり)
	24	25	26	27	28	29	30	
	31							
2月		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28							
3月		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	学位記授与式 (3/23)
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				

・本学では、留学やボランティア活動といった自主的な学習体験の促進や、授業を短期間で集中的に受講することによる教育効果の向上等を目的として、「クォーター制」を導入しています。

・前期に第1タームと第2ターム、後期に第3タームと第4タームを設けています。

・予備日に当該曜日の通常授業又は期末試験を実施することがあります。

・期末試験は各ターム末に期日を定めて実施します。各科目の試験実施の有無・試験日程については、授業担当教員やもみじの試験情報から確認してください。

第1ターム
授業開始:

4月8日(水)

第1ターム (4/8~6/8) 第2ターム (6/9~8/4) 第3ターム (10/2~12/1) 第4ターム (12/2~2/8) ■ 休業期間

- 振替授業日: ターム内で授業日数が不足する曜日を他の曜日に振り替えます。
- 試験期間: 各科目の試験実施の有無、試験日程については、授業担当教員からの連絡やもみじの試験情報から確認してください。
- 補講(試験)予備日: 気象警報の発表等に伴う一斉休講が生じた場合、補講(試験)予備日に補講(試験)を実施することを基本とします。ただし、補講(試験)実施については授業担当教員からの連絡やもみじ等で必ず確認してください。

授業科目の開講区分について

クォーター制では、下記の区分で授業を実施します。

◆ターム科目

→各ターム **8週** で完結する授業科目

- (1) 一日に2コマ連続で **週2回** の授業を行う
- (2) 異なる曜日で一日1コマ、 **週2回** の授業を行う
- (3) **週1回** の授業を行う

◆セメスター科目

→前期・後期の区分で開講し、 **週1回** の授業を行い **16週** で完結する授業科目

※上記の他、夏季や冬季の休業期間に実施する **集中科目** があります。

「クォーター制（4学期制）」に関する情報については、「もみじTop」に掲載しています。

「もみじTop」

－ 「学びのサポート」

－ 「学年暦(授業スケジュール)/授業時間割」

授業の実施方法



原則として対面



オンライン学習

科目の特性や内容に応じて
オンラインを併用

オンライン授業とは？

インターネットに接続されたパソコンなどを使って受講する授業のことで、広島大学では手法に応じて以下のように分類しています。



同時双方向型

教員がリアルタイムで授業を配信し受講生は自宅やキャンパス内の空いている講義室などから授業に参加





オンデマンド型

教員がインターネット上で講義の映像や課題等を配布し、受講生は指定期間内にアクセスして学習

広島大学のオンライン授業では
Microsoft Teams (マイクロソフトチームズ) , 広大moodle (ムードル)
を主に使用します。

オンライン授業で主に使用するツール

名称	Microsoft Teams (マイクロソフトチームズ)	広大moodle (ムードル)
概要	マイクロソフト社が推奨するコミュニケーションツールで、主に同時双方向型のオンライン授業の場合に利用します。	広島大学で運用するオンライン学習システムで、主にオンデマンド型のオンライン授業の場合に利用します。
利用方法	<p>【事前準備】 専用アプリまたはWebブラウザを利用します。お勧めは専用アプリです。以下URLに書いてある利用方法を確認し、いつでも使用できる状態にしておいてください。</p> <div data-bbox="952 813 1176 1021" style="text-align: center;">  </div> <p>https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/services/microsoft365/teams/t-using/</p> <p>【授業を受けるとき】 授業担当教員から、当該授業への接続方法（URL等）が「Myもみじ」授業掲示等で通知されますので、指定時間になったらアクセスしてください。</p>	<p>【事前準備】 事前準備は不要です。以下URLにアクセスし広大ID(※1)とパスワードを用いてログインしてください。もみじTopにもリンクがあります。</p> <div data-bbox="1926 813 2150 1021" style="text-align: center;">  </div> <p>https://webct.riise.hiroshima-u.ac.jp/index.html</p> <p>【授業を受けるとき】 広大moodleにログインすると、履修登録している科目名が並んでいますので、受講する科目を選択してください。</p>

(※1) 広大ID：学生番号（アルファベットは大文字）

(※2) 他のツールを使う授業もありますが、それについては各授業担当教員より別途お知らせがあります。

Microsoft Teamsで授業に参加する

授業担当教員から通知されたURL等をクリックすると、オーディオおよびビデオ設定を選択する画面が表示されます。



The screenshot shows the Microsoft Teams settings interface for audio and video. The background is a blurred Teams meeting view. The settings are as follows:

- Computer audio:
- Phone audio:
- Room audio:
- Do not use audio: (highlighted with a red box)

Below these options, it says: "音声の途切れを防ぐために、ミュートにした状態で参加します。"

On the left side, there are controls for video and background filter:

- Video: (highlighted with a red box)
- Background filter: (highlighted with a red box)

Text annotations and arrows:

- ① カメラとマイクは切っておいてください。出席確認等のために教員から指示があれば、適宜オンにしてください。 (An arrow points from this text to the video and audio settings area.)
- ② オーディオとビデオの設定が完了したら、「今すぐ参加」をクリックしてください。 (An arrow points from this text to the "今すぐ参加" button.)

Buttons at the bottom right: "キャンセル" (Cancel) and "今すぐ参加" (Join now) (highlighted with a red box).

対面授業／オンライン授業の確認方法

各授業の実施方法（対面/オンライン）は、シラバスの「授業の方法」で確認できます。

【シラバスの参照方法】

Myもみじにログイン - シラバス参照 - シラバスの検索条件を入力して検索開始
 - 条件に該当する科目が表示されるので科目名をクリック

年度			
講義コード			
授業科目名	展開ゼミ（睡眠学入門 ～睡眠脳波を観察しよう～）		
授業科目名 (フリガナ)	テンカイゼミ（スイミンガクニューモン スイミンノ...		
英文授業科目名	Advanced Seminar (Introduction for somnology)		
担当教員名	[Redacted]		
担当教員名 (フリガナ)	[Redacted]		
研究室の場所	[Redacted]		
E-mailアドレス	[Redacted]		
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期 集中
曜日・時限・講義室	(集) 集中：詳細はもみじ教養HP参照（東広島開講）		
授業の方法	演習	授業の方法 【詳細情報】	対面, オンライン（同時双方向型） 夜間の睡眠脳波を観察しながら、受講者全員で討論を行います。 オンライン（同時双方向）で事前説明会を行った後、実験室（対面）で睡眠脳波の観察を行います。
単位	1.0	週時間	使用言語 J: 日本語

例えば『対面、オンライン（同時双方向型）』など、複数の方法が表示されている場合は、これらの方法を併用して実施することを意味しています。

オンライン授業を受講する時の留意事項

自分や他の受講生のプライバシーや個人情報に十分配慮しましょう

- 双方向型の授業を受けるときは、**マイクとカメラは「切」（ミュート）の状態にしてから参加しましょう。**自宅の部屋など、あなたが授業を受けている場所の様子が他の人に見られたり、生活音が聞こえてしまいます。ただし、出席確認や討論のためにマイクやカメラをオンにするよう、授業担当教員から指示があった場合は、その指示に従ってください。
- Microsoft Teamsでのオンライン授業に参加している間、他の人の名前とメールアドレスが画面に表示されますが、Teamsの仕様上、非表示とすることができません。**表示される情報を用いて一方的にコンタクトをとった場合、懲戒処分の対象となる可能性があります。決して情報の悪用はしないでください。**

授業で共有されている資料やURLを、無断でSNS等に掲載してはいけません

- オンライン授業での教材、参考資料、授業映像、URLなどは、授業内で利用することを前提に配布・共有されています。その範囲を超えて共有してはいけません。
- 教材や資料、授業映像にも著作権があります。権利者に無断でSNS等に掲載することは著作権侵害にあたります。

オンライン授業やPCに関するQ & A

Q. Microsoft Teamsを利用しているが、自分のマイクをONにすると他者の話す声が途切れて聞き取りにくくなる。

PC から出る音声が入室で反響して音声状況が悪くなっている（ハウリングを起こしている）可能性がありますので、イヤホンやヘッドホンを使用してください。

Q. 広大moodleにアクセスしにくいことがある。

授業開始時にみなさんが一斉に資料をダウンロードすると広大moodleの通信状態が悪化し、他の授業に影響を与えることもありますので、配布資料などは事前にダウンロードして予習しておいてください。また、安定した授業配信のためには通信容量の確保が重要な課題となります。大学のネットワークを利用して娯楽目的での動画の視聴、SNSやオンラインゲーム等でのデータ通信の利用は控えるようお願いいたします。

Q. キャンパス内でオンライン授業を受講できる場所がありますか。

オンライン授業の受講等のために利用できる講義室をもみじTopに掲載しています。
<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/class-support-system.html>



Q. PCの問題があったときに、自分で解決できるかどうか不安だ。

情報メディア教育研究センターでは、オンライン授業を受講するために必要なPCやインターネット環境に関する相談を「学生スタッフによるオンライン授業の受講サポート（予約制）」で受け付けています。ぜひ積極的に活用してください。

<https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/services/edu-support-3/online/>

授業中にトラブルが生じた場合は授業担当教員にチャット機能等で状況を伝えてください。



履修手続きについて

- ・履修手続きは「Myもみじ」を用いてWebで行います。
- ・履修手続き期間や留意事項等の詳細は「もみじTop」に掲載しています。

「もみじTop」

－ 学びのサポート

－ 履修手続き日程(前期)

【令和8(2026)年度 前期(第1・2ターム)履修手続き日程】

対象科目		履修手続き期間
<ul style="list-style-type: none"> ・第1ターム科目 ・第2ターム科目 ・前期セメスター科目 ・集中科目 	教養教育科目	履修登録期間 4月4日(土)0時 から 4月8日(水)23時59分 まで ※4月9日(木)0時から4月10日(金)23時59分までは調整期間のため履修登録不可 履修確認・修正期間 4月11日(土)0時 から 4月14日(火)23時59分まで
	専門教育科目	4月4日(土)0時 から 4月14日(火)23時59分 まで
<ul style="list-style-type: none"> ・第2ターム科目 ・第2ターム以降に 開講される集中科目 	教養教育科目 専門教育科目	6月8日(月)0時 から 6月15日(月)23時59分 まで ※4月の履修手続き期間に履修登録した第2ターム科目の削除も可能 (ただし, 調整期間で抽選された第2ターム科目は対象外)

※後期(第3・4ターム)の履修手続き日程は8月上旬にお知らせします。

Myもみじ履修登録・参照画面

履修登録・参照					
氏名	広大 太郎	所属	教養教育		
年度・学期	2024年 後期	学生番号	B24****	学年	1年
修得予定単位数	4単位	単位不要科目単位数	0単位	合計単位数	4単位

は語学など、あらかじめ指定された授業で、学生による変更はできません。
履修を希望する曜日時限の枠内をクリックしてください。履修登録科目入力画面が表示されます。

1ターム						2ターム						3ターム						4ターム											
月						火						水						木						金					
18時限		哲学 教員氏名 1299005E 削除		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録							
28時限		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録							
38時限		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録							
夜38時限		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録		登録							

集中/その他						
曜日	時限	講義コード	授業科目名	担当教員名	教室名	
集中	その他	F1309154	日本法入門1	教員氏名 08013124	法・経B152	削除

授業科目検索 ← 集中講義など、曜日・時限に関係なく検索できます。

CSVファイル出力 ← 履修一覧表を出力する場合に使用します。

注意： CSV、PDFの「出力」の際に、パソコン上の自分が意図していない場所へ当該ファイルの内容が保存されることがあるため、情報が漏洩する可能性があります。
CSV、PDFの「出力」の操作を行う場合は、必ず個人用のパソコン又は情報メディア教育研究センターの端末を使用してください。

印刷用画面表示 ← 印刷用の画面を表示します。

単位修得状況確認(卒業・修了等) ← 卒業・修了・進級などの要件毎に確認を行います。

・各タームごとに履修を希望する科目を検索し、登録します。

・セメスター科目を登録する場合、第1タームの画面で登録すれば、自動的に第2タームの画面にも表示されます。

履修登録・参照 / 履修登録科目入力	
以下の科目を履修登録します。よろしいですか？	
開講区分	4ターム
曜日・時限	(4T)月5-6,火7-8
開講部局	法学部法学科屋間コース
講義コード	F1305113
授業科目名	社会学1
履修届出区分	指示なし

科目を変更する場合は [時間割検索](#) で検索できます。

登録 シラバス参照 クリア 履修登録画面に戻る

注意！

「登録」ボタンは一度だけ左クリックしてください。
複数回クリックすると正常に登録できない場合があります。
もし、複数回クリックしてしまった場合は、左側の初期画面「TOP」ボタンをクリックして、再度「履修登録・参照」で確認してください。


通学するキャンパス以外で開講される授業の履修

年度		開講部局	教養教育
講義コード		科目区分	領域科目
授業科目名	<div data-bbox="353 316 837 794" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 例えば、シラバスで開講キャンパスが「東広島」となっている場合、 </div>		
授業科目名 (フリガナ)			
英文授業科目名			
担当教員名			
担当教員名 (フリガナ)			
研究室の場所		Work	オンライン授業であれば、霞/東千田キャンパスに通学する学生も <u>キャンパス間の移動時間を考慮せず</u> 、東広島キャンパスの授業を履修することが可能です。
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期 1ターム
曜日・時限・講義室	(1T) 月1-4 : 総K110		
授業の方法	講義	授業の方法【詳細情報】	オンライン (同時双方向型) 授業は講義中心です。講義で使用する資料はBB9に教材として掲載します。
単位	2.0	週時間	4
		使用言語	J : 日本語



授業によっては、履修条件等を設けている場合がありますので、シラバスをよく確認してください。

到達目標型教育プログラム「HiPROSPECTS®」

 ハイプロ **2**ページをご覧ください。

- **HiPROSPECTS® (ハイプロスペクツ)**

Hiroshima University Program of Specified Education and Studyの略

- **広島大学独自の学士課程教育システム
「到達目標型教育プログラム」**

HiPROSPECTS®の特徴

- 卒業までに身につけておくべき知識や能力を「到達目標」として明示
- 到達目標に対しての「到達度」を確認

HiPROSPECTS®の構成

👉 ハイプロ 3ページをご覧ください。

(全学生が履修)

主専攻プログラム (65プログラム*)

各学部・学科等が学士号取得を目的に提供するカリキュラム

*英語による学士課程プログラムを含む

(希望者のみ履修)

副専攻プログラム (47プログラム)

他の主専攻プログラムの基礎・概要等の学習を目的としたカリキュラム

特定プログラム (14プログラム)

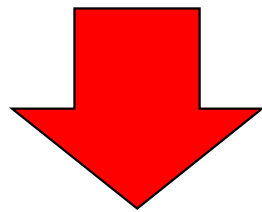
特定のテーマの学習又は資格取得を目的としたカリキュラム

到達目標と授業科目との関係

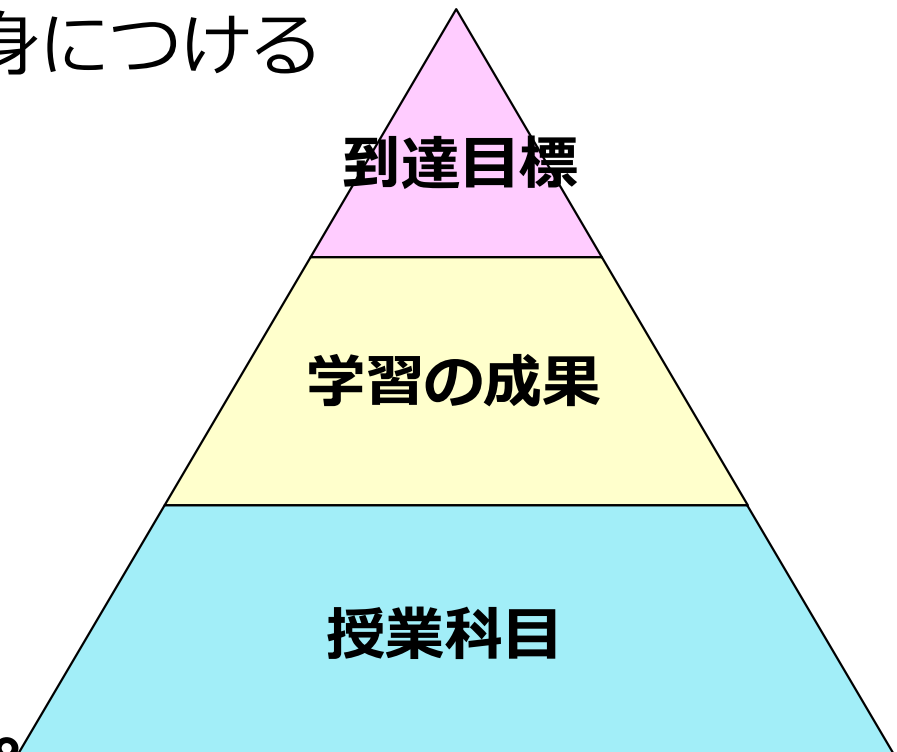
「到達目標」 = 卒業時までには身につけておくべき知識・能力
(目指すべき卒業生像)

「学習の成果」 = 到達目標を達成するために具体的に身につけるべき知識・技能・態度

「授業科目」 = 「学習の成果」を身につけるための学習内容



各授業科目を履修することで、
「学習の成果」が身につき、それらを総合して、卒業時には「到達目標」に到達することになります。



主専攻プログラム詳述書

主専攻プログラム詳述書

本文

プログラムの名称

1.取得できる学位

2.概要

3.ディプロマ・ポリシー

4.カリキュラム・ポリシー

5.開始時期・受入条件

6.取得可能な資格

7.授業科目及び授業内容

8.学習の成果

9.卒業論文（卒業研究）

10.責任体制

到達目標を
明示

別紙

1.履修表

2.評価項目と評価基準との関係

3.評価項目と授業科目との関係

4.カリキュラムマップ

5.担当教員リスト

学習の成果を
明示

到達目標型教育を
言語化，可視化

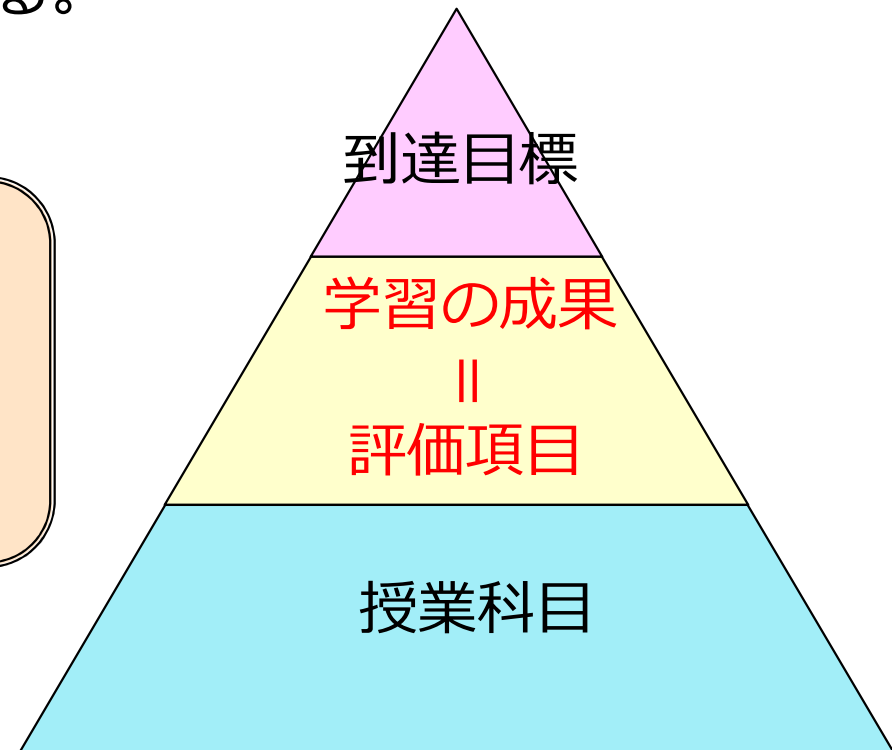
評価の方法（到達度の評価）

👉 ハイプロ 9ページをご覧ください。

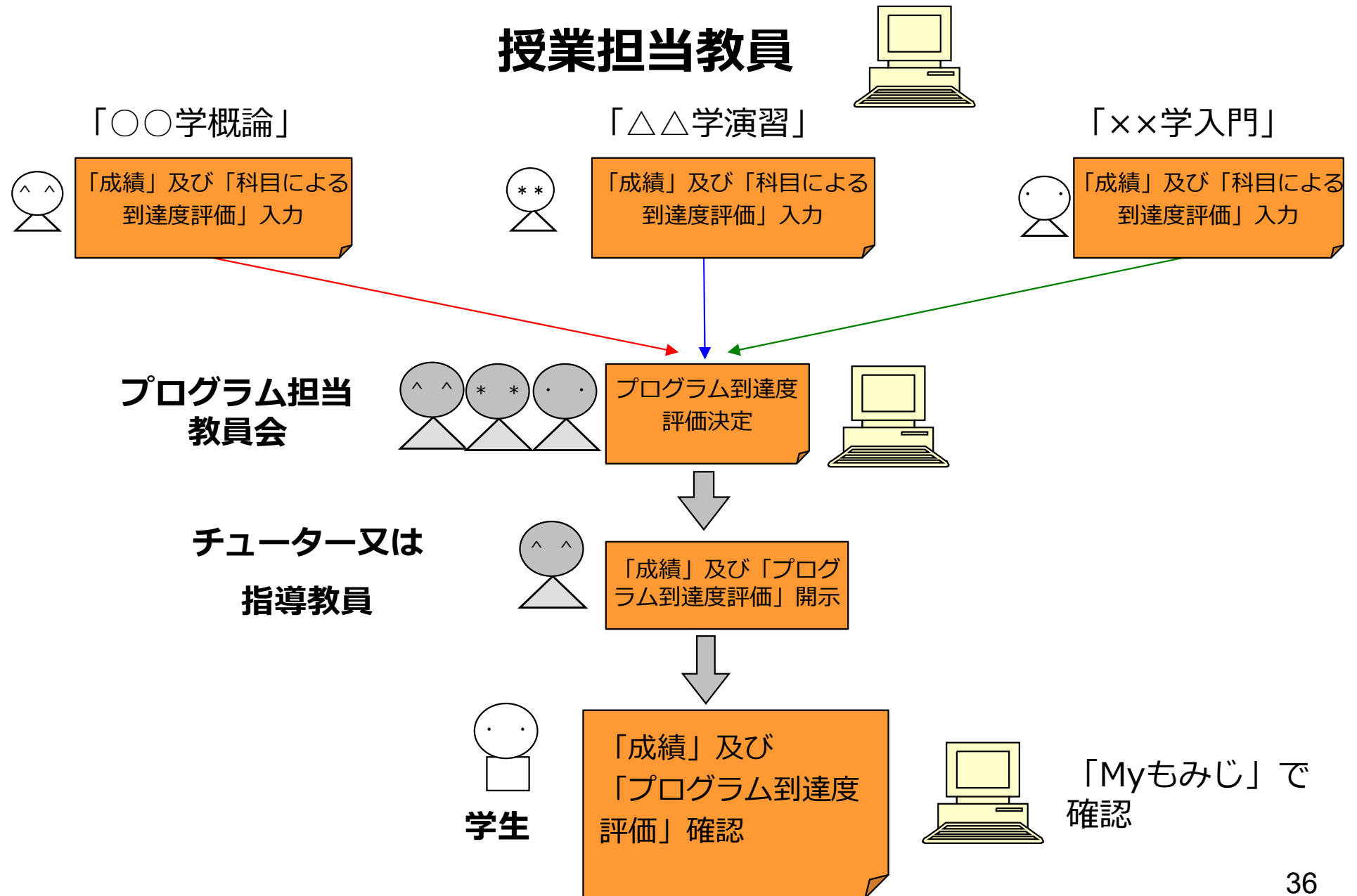
到達度評価

「学習の成果」を「評価項目」として、それぞれ「評価基準」が決められている。その「評価基準」に基づく到達度評価であり、3段階で示される。

極めて優秀（Excellent : E）
優秀（Very Good : VG）
良好（Good : G）



評価の方法（到達度の評価）



成績評価, GPA及び到達度の評価の確認方法

- 成績評価, GPA及び到達度評価は「Myもみじ」で確認することができます。
- 到達度評価は, レーダーチャートで確認することも可能です。学期毎の到達度評価を視覚的に確認できるので, 何が足りないのかを把握し, 次学期に向けた履修計画に役立ててください。



成績

- 履修成績確認
- 確定成績確認
- GPA参照

到達度評価

- プログラム到達度評価参照

到達度評価の確認方法

- 成績評価・GPAの確認ができます。
- 到達度の評価の確認ができます。

レーダーチャートの見方について

総合科学プログラム到達度評価(全体)

Excel出力 全体

Legend:

- 所属プログラム0016年度後期平均
- 2016年度後期
- 2015年度後期
- 2015年度前期

副専攻プログラム・特定プログラム

 ハイプロ 4~5ページをご覧ください。

	副専攻プログラム	特定プログラム
登録時期	1月上旬から2月上旬 ※一部の特定プログラムでは、登録申請時期が異なります。 詳しくは、HiPROSPECTS® ウェブサイト内の特定プログラムのページをご覧ください。	
登録する学生	希望者のみ	
登録可能プログラム数	1つ ※各自が所属する主専攻プログラムが提供元になっている副専攻プログラムを除く	複数
プログラムの 修了条件	副専攻プログラムの修了要件単位を修得し、卒業の認定を受けた場合に修了となる	特定プログラムの修了要件単位を修得し、卒業または離籍（退学など）した場合に修了となる
修了証書の交付	全ての副専攻プログラムで修了証書が交付される	一部の特定プログラムのみ修了証書が交付される

副専攻プログラム一覧 → ハイプロ10ページ参照

特定プログラム一覧 → ハイプロ11~12ページ参照

HiPROSPECTS®の内容

👉 ハイプロ 6ページをご覧ください。

各プログラムの概要を示した資料

- 主専攻プログラム詳述書
- 副専攻プログラム説明書
- 特定プログラム説明書

「もみじTop」
 — 学びのサポート
 — 学士課程
 — HiPROSPECTS®



到達目標型教育プログラム 「HiPROSPECTS (R)」

HiPROSPECTS®

未来でツカエル! 夢にツナガル!

広島大学では、学生の皆さん一人ひとりに応じたよりきめ細かい学習サポートを重視し、教育の質の向上、社会からの信頼に対応するため、「HiPROSPECTS(R) (到達目標型教育プログラム)」を平成18年度から開始しました。入学時に示す目標以上の知識や能力を、学生の皆さんが身に付けて卒業できるよう、目標への一人ひとりの到達度を学期ごとにお知らせして、それに応じた学習へのアドバイスを行います。高度な研究業績、質の高い教員陣出等で各方面から高い評価を得てきた広島大学の教育が、ますます魅力的になりました。

HiPROSPECTS®


* HiPROSPECTS(ハイプロスペクツ:Hiroshima University Program of Specified Education and Study)は広島大学の登録商標です。

各プログラムで開講されている授業科目の目標や授業計画を示した資料

- シラバス

「Myもみじ」
 — シラバス

情報科学パッケージ科目

 **ハイプロ 24ページをご覧ください。**

情報科学パッケージ科目とは、さまざまな学問領域において必要とされる体系的な分析手法や情報処理技術を修得するため、情報科学部で開設される専門教育科目の中からそれぞれの学問領域に応じて「パッケージ化」した授業科目のことです。

情報科学パッケージ科目を履修するには・・・

- ① 学生便覧のハイプロ25ページで所属（又は希望）する主専攻プログラムが推奨する**パッケージを確認**します。（例えば、総合科学プログラムだと「総合科学系」というパッケージになります。）
- ② パッケージに含まれる**授業科目を確認**します。
- ③ シラバスで授業内容を確認し、履修を希望する授業科目を、他の授業と同じように**「Myもみじ」を通して履修登録**をしてください。

情報科学パッケージ科目により修得した知識は、それぞれの学問領域での卒業研究、大学院での学習、就職後の業務等さまざまな場面で活用されるはずです。多くの学生の皆さんが、情報科学パッケージ科目を受講されることを期待しています。

初年次インターンシップ（社会体験）

 ハイプロ 26~27ページをご覧ください。

守ってほしいこと

- 必ず(学研災付帯)賠償責任保険に加入してください。
- インターンシップ参加前には、各学部またはグローバルキャリアデザインセンターで行うインターンシップ事前指導を必ず受講するようにしてください。
- 受入先の方に失礼のないように、あいさつや言葉遣いなど、マナーに気をつけましょう。



気象警報の発表等に伴う全学一斉休講について

広島地方気象台からの気象警報の発表，公共交通機関の運休，事件・事故又は弾道ミサイル発射等の場合，授業を一斉休講とする場合があります。

一斉休講になる場合は，「**もみじTop**」の**緊急連絡欄（下図参照）に掲載し，広大メール（b26****@hiroshima-u.ac.jp）でも通知しますので，身の安全を第一に考えて行動してください。**

＜一斉休講の判断時刻と一斉休講とする授業時限の範囲＞

- 1) 午前の授業（ 8：45から12：10までに始まる授業）： 6：45頃まで
- 2) 午後の授業（12：50から17：05までに始まる授業）： 10：50頃まで
- 3) 夜間の授業（17：30から19：40までに始まる授業）： 16：00頃まで

※詳細は「もみじTop」の以下ページで確認してください。

「もみじTop」

－ 学びのサポート

－ 気象警報の発表，公共交通機関の運休又は事件・事故等に伴う全学一斉休講について



広島大学公式X（旧Twitter）や公式Facebookからも情報が確認できます。いずれにもアクセスできない場合は，所属学部支援室へ問い合わせてください。



期末試験等における不正行為の取扱いについて

期末試験等における不正行為の取扱いについて（抜粋）

1 期末試験等において不正行為を行った者の**当該期**の履修科目の取扱いについては、次のとおりとする。

前期・後期

(1) 教養教育科目の試験において不正行為を行った者は、**すべての**教養教育科目の評価を「不可」とする。ただし、教養ゼミを除く。

(2) 専門教育科目の試験において不正行為を行った者は、**すべての**専門教育科目の評価を「不可」とする。

2 期末試験等において不正行為を行った者は、広島大学学生懲戒規則により懲戒処分を行う。

例えば、第2タームの教養教育科目で不正行為があった場合、前期に履修した教養ゼミ以外の教養教育科目（第1ターム科目・第2ターム科目・前期セメスター科目・前期集中科目）の成績評価が全て「不可」になります。

大学・高専における生成 AI の教学面の取扱いについて (2023年7月13日 文部科学省)

1. 生成AIと学修活動との関係性、成績評価

生成AIの出力をそのまま用いるなど学生自らの手によらずにレポート等の成果物を作成することは、学生自身の学びを深めることに繋がらないため、一般に不適切である

利活用した旨や利活用した生成AIの種類・箇所等を明記させる

生成AIの種類(有料版か無料版か)により、成果物に差が生まれ得る

2. 生成AIの技術的限界(生成物の内容に虚偽が含まれている可能性)

3. 機密情報や個人情報の流出・漏洩等の可能性

4. 著作権に関する留意点

(2023.5.23) 本学の教育活動における生成AI (ChatGPT等) の利用方針

理事・副学長 (教育・平和担当) 鈴木 由美子

1. 基本方針

大学での学びは、自らで課題を発見し、自分自身で解決策を考え、そして行動することが基本であり、学生が授業においてChatGPT等の生成AIをレポート等の課題作成に利用する場合には、このことを念頭に置く必要がある。さらに、教員を含む利用者は、生成AIの仕組みやメリット・デメリット、情報リテラシーを理解した上で、様々な場面で活用する能力を身につけるとともに、急激に進化するAI技術の知識や求められる能力を、絶えず向上させることを基本方針とする。

2. 情報リテラシー教育の重要性

本学では、教養教育において情報・データサイエンス科目を必修にしており、学生全員が情報リテラシーの基礎を学修するが、時節に対応して必要とされるリテラシーも刻々と変化するため、生成AIの活用における個々の意識や知識を自ら常にアップデートすることが求められる。また、教員もAIの最新技術や動向について、学内外の研修やセミナー等により情報を収集し、学生の個人情報保護や倫理的な問題を踏まえつつ、常に教育方法・内容の見直しと改善を図ることが重要である。

3. 教育活動における生成AIの利用について

授業担当教員や指導教員は、以下の点に留意して授業等を実施する。

- 1) 授業内やレポート等の課題作成における利用の可否について適切に判断し、シラバスやガイダンス等で学生へ説明する。
- 2) 利用を可とする場合は、学生に対して、生成AIの出力結果をそのまま利用することが著作権侵害や剽窃にあたる可能性があること、個人情報や機密情報の漏洩につながる事、出力結果が誤っている可能性があるなどの留意点を十分に伝え、細心の注意を払って利用するよう指導する。
- 3) 学生がレポート等の課題で利用する場合は、どのような場面で生成AIを利用したか、あるいは出力結果の引用箇所を明示した上で自分の意見を述べさせるなど、利用したことが分かるものにするよう指導する。また、レポート等の要旨を手書きで作成させる等の工夫を施す。
- 4) 必要に応じて授業の方法や内容、課題、評価基準等を見直し、より効果的な授業実施に努めるとともに、適切に成績評価を行う。

もみじより抜粋

レポート作成上の注意について



レポート作成上の注意



大学では講義や実習の課題として、レポートを提出する機会が多々あります。

本学ではレポートの盗用や剽窃等の不正行為を未然に防止するため「**レポート作成上の注意**」を作成しています。

(掲載場所)

「もみじTop」

- 学びのサポート
- 学士課程
- レポート作成上の注意

正しいレポートの書き方を学び、不正行為と受け取られないように注意してレポートを作成しましょう。

授業改善アンケートの実施について

『授業改善アンケート』の実施

学生の意見を取り入れ、授業改善に役立てるため、各ターム末に学生による授業改善アンケートを実施しています。

- ・履修している授業科目ごとに回答します。
- ・アンケートは無記名で「Myもみじ」へログインして回答します。

スマホからでも
回答できる！

※詳しくはアンケートを実施する時期に「もみじTop」「Myもみじ」からお知らせします。

**率直な意見をお聞かせください
皆さんの声が広大の教育を変えます**

外国語運用能力の向上について

広島大学では、英語に限らず外国語の教育を重視しています。教室で外国語を勉強することを通じて、実社会で専門的な知識や技能を生かすための手段として外国語を活用できることが最終的な目標です。英語教育では、目標への到達段階を確認するために、「TOEIC[®]スコア」を使います。定期的にスコアを確認し、到達の度合いを数値でも確認しましょう。

<外国語能力を身に付けるための様々なツール>

広島大学外国語教育研究センター

<https://www.flare.hiroshima-u.ac.jp/>

- ・ ホームページのメニューにある「学習支援・教材開発」をクリック
- ・ 外国語学習のための様々なツールを提供



The screenshot shows the website header with the logo and name 'Institute for Foreign Language Research and Education 広島大学外国語教育研究センター'. The navigation menu includes 'センター紹介', '提供科目・プログラム', '研究活動・成果', '学習支援・教材開発', and '検定試験'. The '学習支援・教材開発' menu is expanded, showing sub-items: '自主学习に役立つ情報', '教育・学習に関する相談窓口', and 'オンライン授業関連のリンク集 (学内者向け)'. The '自主学习に役立つ情報' sub-item is highlighted with an orange box, and an arrow points from the text on the left to it.

TOEIC® L&R IPテストの活用

広島大学では、英語能力を入学時から卒業時まで同じ基準で継続的に測定することを目的として、学部生は全員**TOEIC® L&R IPテスト**を在学中に受験します。

◆受験時期：全学一斉実施としては在学中に2回受験します。

(学部等や履修科目によっては、別途受験することもあります)

1回目…1年次5月頃 **(2026年度：5月18日(月)～24日(日)にオンラインで実施)**

2回目…3年次以降(具体的な時期はもみじTopで確認してください)

※詳細は「Myもみじ」及び「もみじTop」にてお知らせします。

◆試験の概要：リスニング・リーディングの選択式

◆受験費用：無料(大学で負担します)

「もみじTop」
— 学びのサポート
— TOEIC(R) L&R IP情報

<TOEIC® L&R IPテストの希望受験について>

3年次以降の学生を対象に、11～12月頃にTOEIC® L&R IPテストが実施されます。

1年次生でも希望者は無料で受験することが可能なので、ぜひ積極的に申し込んでください。

※先着順又は抽選となる場合があります。

※詳細は8月以降に「Myもみじ」掲示板でお知らせする予定です。

TOEIC(R) L&R IPテストの結果は、教養教育の英語科目の成績評価及びクラス編成、大学全体のカリキュラムや教育方法の改善にも活用しています。

特定プログラムの説明会等について

Global Peace Leadership Program

卒業に必要な学修と並行して、英語力、リーダーシップ力、平和への理解等を深める授業科目を履修し、海外留学を通して国際的教養力を育む**特定プログラム**です。

この特定プログラムでは、**海外留学を必須としており、留学費用の一部を大学が支援します。**



<プログラム説明会>

日時：4月9日（木）16：30から（1時間程度）

場所：総合科学部講義室（※）

（※）講義室は決まり次第、以下のウェブサイトでお知らせします。

<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/gplp.html>

「もみじ」Top

– 学びのサポート

– 学士課程

– Global Peace Leadership Program

数理・データサイエンス・AI教育

情報・データサイエンス・AIパッケージ

リテラシーレベル

概要：高度情報化社会の中でデータおよびコンピュータを活用していくのに必要となる基礎的な知識や技能を得る。さらに、有用性と問題点、情報倫理上の課題を検討した上でデータサイエンスと情報科学の知見を活用する能力を身につけ、将来、新しく現れる技術にも対応していく態度を育てる。

⇒**教養教育科目**で構成

- ◎**全学部・学科等の学生が**、教養教育科目の「情報・データサイエンス科目」を履修することで、必要な知識・スキルを修得できるようにカリキュラムが構成されています。
(登録手続きは不要)

文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定（令和3年8月4日付け）
（有効期限：令和11年3月31日）

https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/manabu/kyouyou/data_science



AI・データサイエンス応用基礎特定プログラム

応用基礎レベル

概要：ICT（情報通信技術）の発展に伴いIoTやAIが様々な場面で活用されてきている。これらの技術を活用し、社会に出て直面するであろう様々な課題を解決するために必要とされる、AI・データサイエンスの基礎知識と実践力を身につけることを目的とする。これらの知識・応用力は理系・文系を問わず必要とされるものであり、文系の学生にも理解できるような内容としている。



MDASH 数理・データサイエンス・AI
Advanced Literacy 教育プログラム認定制度
応用基礎レベル

⇒**AI・データイノベーション教育研究センター**の提供科目が中心

- ◎リテラシーレベルの学修を基礎として、さらにAI・データサイエンスの知識を深め、自身の専門分野へ活用するためのカリキュラムを**特定プログラム**として準備しています。
(希望者は1月に登録申請が必要)

文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」の認定（令和4年8月24日付け）
（有効期限：令和9年3月31日）

https://www.hiroshima-u.ac.jp/prog/program/tokutei/ai_data_science



第三部

総合科学科専門教育について

1. 卒業要件単位（学生ハンドブック概要3参照）

教養教育50単位 + 専門教育78単位 = 128単位

科目区分等		履修区分	要修得単位数
平和科目		選択必修	2
大学教育入門		必修	2
教養ゼミ		必修	2
領域科目	人文社会科学系科目群	選択必修	4
	自然科学系科目群		4
	人文社会科学系科目群及び自然科学系科目群		16（注）
外国語科目	英語	選択必修	コミュニケーションⅠA
			コミュニケーションⅠB
			コミュニケーションⅡA
			コミュニケーションⅡB
	初修外国語 （ベーシック外国語）	選択必修	4
情報・データサイエンス科目		必修・選択必修	4
健康スポーツ科目		選択必修	2
基盤科目		選択必修	6
計			50

（注）展開ゼミ，コミュニケーション基礎，インテンシブ外国語，社会連携科目などの単位を算入することができる。詳細は，学生ハンドブックを確認すること。

1. 卒業要件単位 (学生ハンドブック概要3参照)

教養教育50単位 + 専門教育78単位 = 128単位

科目区分等	履修区分	要修得単位数
総合科学へのいざない	必修	2単位
総合科学概論	必修	2単位
総合科学部共通科目	選択必修	6単位 (※1)
教育領域科目	選択必修	48単位 (※2)
学際科目又は専門外国語科目	選択必修	4単位
自由選択科目	選択科目	10単位 (※3)
特別研究	必修	6単位
計		78単位

小さい字ですが、大事なことがたくさん書いてあるのでよく読んでください。

(※1) 人間科学分野, 自然科学分野, 社会科学分野からそれぞれ2単位ずつ合計6単位修得

※6単位を超えて修得した場合は, 自由選択科目に算入

(※2) 条件1 登録した教育領域から16単位以上修得

条件2 登録した教育領域以外から合わせて6単位以上修得

※その他登録した教育領域の中の授業科目群により履修順序など指定あり

※48単位を超えて修得した単位は, 自由選択科目に算入

(※3) 他学部等の専門教育科目を含めることができる

総合科学科の特徴的な授業科目

総合科学へのいざない（2T：1年次必修）

総合科学科の学生に対する「総合科学」の導入教育として開講する科目です。総合科学の成立の経緯，期待と課題，そしてその現状に関わる理解を促すことで，学生自らが学ぶための方向付けを行うことを目的としています。

総合科学概論（4T：1年次必修）

共通するテーマを様々な分野の視点から扱った講義や，グループワーク，グループ発表などを通して，総合科学の視点を深めるとともに，プレゼンテーションの力も身につけることを目的とした科目です。授業の最後には小論文を作成してもらいます。

学際科目

学際的研究の実現可能性への理解を育みつつ，具体的に「総合科学」へのチャレンジを促すことを目的とした授業科目です。

専門外国語科目

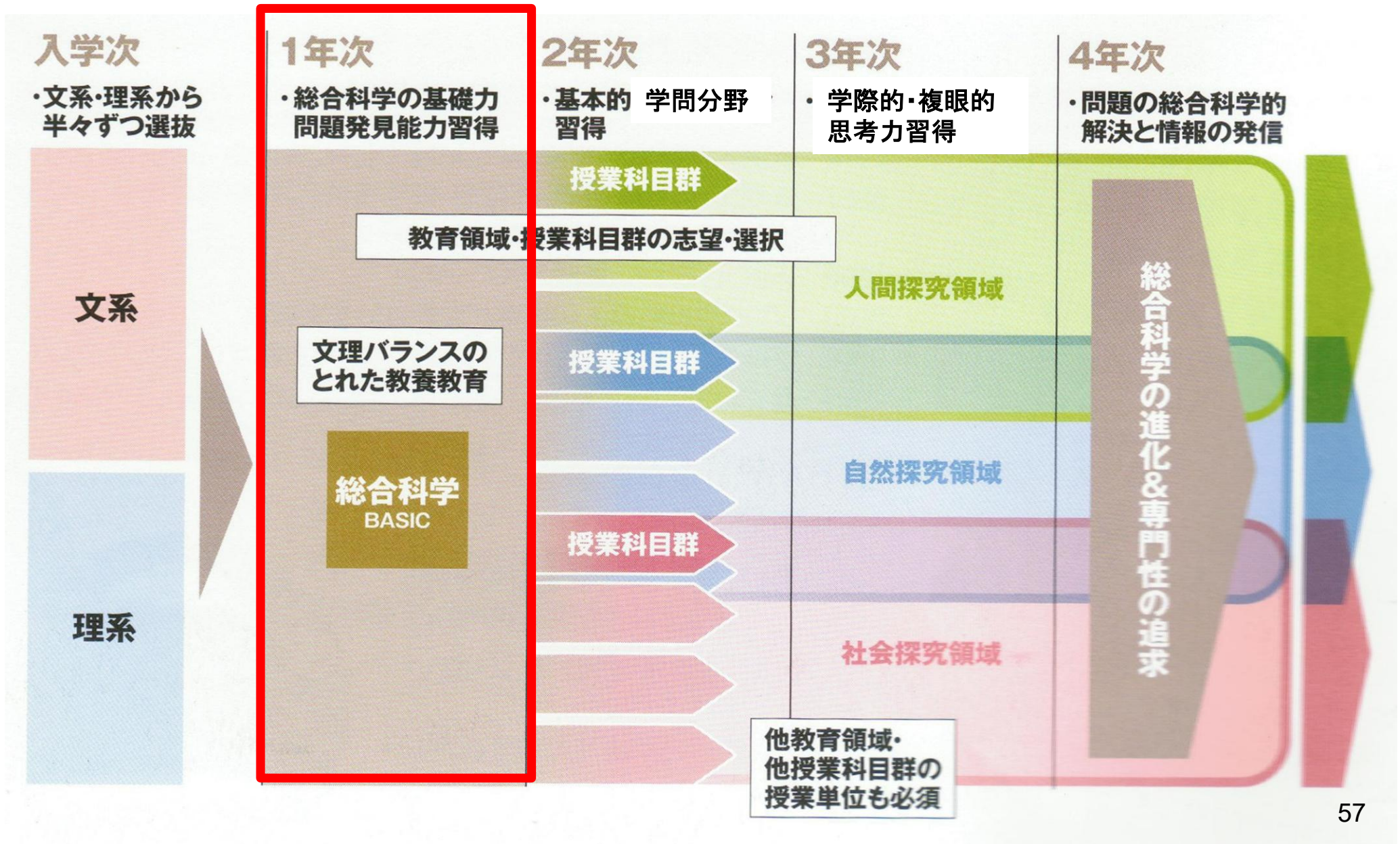
専門的な外国語運用能力の強化を目的とした授業科目です。英語，フランス語，ドイツ語，中国語など，外国語関連の授業科目が横断的に配置されています。

R8年度の「総合科学へのいざない」

(第2ターム毎週火曜・木曜の9・10時限, 総L102)

- 第1回 ガイダンス「総合科学部での学び」
- 第2回 「総合科学と総合科学部の使い方」
- 第3回 「総合科学推進プロジェクト研究紹介 1」
- 第4回 「総合科学推進プロジェクト研究紹介 2」
- 第5回 「学生独自プロジェクト紹介」
- 第6回 「総合科学部の教育領域を知る」 自然探究領域 1
- 第7回 「総合科学部の教育領域を知る」 自然探究領域 2
- 第8回 「総合科学部の教育領域を知る」 社会探究領域 1
- 第9回 「総合科学部の教育領域を知る」 社会探究領域 2
- 第10回 「総合科学部の教育領域を知る」 人間探究領域 1
- 第11回 「総合科学部の教育領域を知る」 人間探究領域 2
- 第12回 「社会における総合科学の必要性を知る」 外部講師1
- 第13回 「社会における総合科学の必要性を知る」 外部講師2
- 第14回 「社会における総合科学の必要性を知る」 外部講師3
- 第15回 全体討論

2.卒業までのプロセス



卒業までの履修上のプロセス

1年次前期（第2ターム）	必修科目「総合科学へのいざない」履修
1年次後期（第4ターム）	必修科目「総合科学概論」履修
1年次11月	希望教育領域・主授業科目群申請（①）
1年次3月	希望教育領域決定（①）
1年次末	成績優秀者認定（②）
2年次末	成績優秀者認定（②）， 早期卒業候補者認定（③）
3年次7月～	特別研究指導希望教員との面談（④）
3年次8月～	仮配属開始（受入可能な教員のみ）
3年次11月まで	特別研究主指導教員希望届提出
3年次12月	特別研究主指導教員決定
3年次末	早期卒業認定
4年次前期末	早期卒業認定
4年次1月	特別研究提出締切（⑤）
4年次3月	卒業（「学士（総合科学）」授与）

①教育領域・主授業科目群の決定について

【教育領域・主授業科目群決定までのスケジュール】

- 7月下旬 「総合科学へのいざない」領域別ガイダンス
※自身の所属したい領域及び授業科目群について検討する。
※現時点での傾向を把握するため予備調査を実施する。
予備調査結果は「総合科学へのいざない」の最終回およびもみじ掲示にて公表する。
- 11月中旬 「希望教育領域（主授業科目群）届」提出締切
※9月上旬（成績発表後）～11月上旬の間に、1年次チューター（教養ゼミ担当教員）と連絡を取り、2年次から所属を希望する領域・主授業科目群について面談する。
※「希望教育領域（主授業科目群）届」には、第3希望まで記入する。
※チューター（教養ゼミ担当教員）に署名をもらった「希望教育領域（主授業科目群）届」を、上記期限までに総合科学系支援室（総合科学部M棟1階事務室）に提出する。
- 3月上旬 教育領域・主授業科目群決定
※決定した教育領域・主授業科目群はもみじにて通知する。

①教育領域・主授業科目群の決定について

【教育領域・主授業科目群決定における留意事項】

教育領域・主授業科目群の決定は、原則、学生の希望を尊重する。
ただし、各授業科目群の定員（指導可能人数上限）を超過した場合は、実
験・実習の授業や4年次における特別研究指導に支障をきたすことがある
ため、第2希望、第3希望の授業科目群に変更してもらう可能性がある。

定員を超過した場合は、1年次後期までの成績に基づき選考する。

各授業科目群の定員や手続きの詳細については、もみじ掲示および第2
ターム「総合科学へのいざない」で通知する。

②履修科目登録単位数の上限 と成績優秀者

1 学期に履修科目として登録できる単位数は・・・

26単位が上限（4年生は上限なし）

（ただし，集中講義を除く）

※成績優秀者（当該年次において，36単位以上修得し，履修登録単位数の7割以上の成績が優以上の者）は，次年次に限り上限を超えて履修することができる。

③早期卒業（3年又は3年半）

早期卒業候補者認定

2年次末までに以下①，②を満たし，2年次末までに所定の手続きを行った場合，早期卒業候補者として認定

- ①「総合科学へのいざない」「総合科学概論」を含む100単位以上を修得していること
- ②修得単位の9割以上が優以上であること

早期卒業認定

3年次末又は4年次前期末において，早期卒業候補者が以下①，②を満たした場合，早期卒業として認定

- ①卒業要件単位数を修得していること
- ②修得単位の9割以上が優以上であること

④特別研究における仮配属制度

特別研究の早期着手

○3年次7月から面談を行い，8月から特別研究に着手

【仮配属の条件】

- 「総合科学へのいざない」及び「総合科学概論」の単位を修得済
- 2年次後期終了時点で約80単位以上を修得済

(注意)

- 仮配属制度の対象は，仮配属を認めている教員のみ

(詳しくは，「総合科学へのいざない」で配付予定の「総合科学部担当教員教育研究内容紹介」を参照)

- 仮配属から本配属への継続は認められない場合があるので注意

(本配属の希望者が多い場合，主指導教員が指定する授業科目の履修状況，希望届の内容，本人のGPA(成績)不振等により審議の上，決定する)

⑤特別研究（卒業論文）

必修科目

3年次終了時点で「総合科学へのいざない」及び「総合科学概論」を含む約100単位以上を修得していること

4年次1月31日（※）までに、卒業論文を総合科学系支援室（学士課程担当）へ提出

※ 早期卒業の場合は3年次1月31日又は4年次7月31日

優秀な研究には「岡本賞」を授与

3. 教員免許状の取得について

総合科学科で取得可能な教育職員免許状

高等学校教諭一種免許状

地理歴史，公民，数学，理科，外国語（英語）

※修得単位数を満たせば，複数科目取得できますが，教育実習は主免許の科目で実施します。

必要単位数（総合科学部は「大学が独自に設定する科目」（12単位）の設定がない）→他の項目から修得するようになっている。

教育職員免許法施行規則66の6に定める科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」各項目2単位以上必要、すべて教養教育科目。 ※開設年次は全て1年次。
教科の指導法に関する科目（4単位）	必修科目や選択必修科目を修得したうえで、4単位以上必要。 ※開設年次は2 or 3年次。
教科及び教科の指導法に関する科目 （教科に関する専門的事項）	各項目の必修科目を修得したうえで、30単位以上必要。 ※「開設学部等」が教養となっている科目については、1年生で履修できるものが多い。2年次以降は専門教育科目の履修で忙しくなるため、履修する場合は早めに履修しておくこと。
総合科学部は+10単位=30単位	
『教育の基礎的理解に関する科目』『道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目』及び『教育実践に関する科目』	「教育の思想と原理」「教職入門」「児童・青年期発達論」「総合的な学習の時間の指導法」「教育相談」「教育実習指導C」「中・高等学校教育実習Ⅱ」「教職実践演習」等、表に記載のある科目すべて（計25単位）が必要。※開設年次については、シラバス参照。 「教育実習指導C」「中・高等学校教育実習Ⅱ」については、別途もみじ掲示で案内がある。 ※昨年2年次の秋に最初の登録の案内がありました。 変更がある場合があるので、もみじ掲示をきちんと確認するようにしてください。
総合科学部は+2単位=25単位	

必要単位について不明な点がある場合は、総合科学系支援室（学士課程）へ早めにお問い合わせください。

最後に…（最後ですがとても大切です）

- 大学では自ら進んで情報入手し行動していくことが必須です。
- 学生への伝達・連絡事項は、「**Myもみじ**」の**掲示板**（**「学部・研究科掲示板」等**）や**広大メール**で連絡しますので、必ず**毎日**

- ・「Myもみじ」にログインして掲示板を確認
- ・広大メールのメールチェック

を行うようにしてください。

これで説明を終わります。お疲れ様でした。

分からないことがあれば、
総合科学系支援室 学士課程担当（事務棟M棟1階）
にお問い合わせください。



下記の電話番号は総合科学系支援室の電話番号です。
着信があった場合は、必ず折り返し連絡してください。

【総合科学系支援室】開室時間（平日8：30-17：15）

**学士課程担当：082-424- 6303,6315,6318,6319,
7919,4628**

国際共創学科担当：082-424- 7988,6320